

地域密着型金融の取組みについて

目次

1. 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月までの具体的な取組み状況……………P1～P3
2. 平成 26 年度 地域密着型金融に係る主要計数等の実績 ……………P4
3. 平成 26 年度 経営改善支援の取組み実績 ……………P5
4. 平成 26 年度 写真による氷見伏木信用金庫の地域密着型金融の取組み事例紹介…P6～P9
5. 平成 27 年度地域密着型金融の取組み方針について ……………P10
6. 平成 27 年度地域密着型金融の取組みについて……………P11～P13

地域密着型金融

1. 平成26年4月～平成27年3月末の具体的な取組み状況

氷見伏木信用金庫

項 目	平成26年度の取組施策	平成26年度の成果
〔1〕顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮		
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新事業支援	富山県、高岡市、氷見市の制度融資である創業者支援資金の積極的な推進、取扱いをします。	平成26年度実績として、地元商工会議所との連携もあり、創業資金は8件・574百万円の取扱いがありました。
(2) 経営改善支援	取引先の経営改善の提案を行ない、経営改善計画書に基づいて支援に取組みます。	平成26年度は経営改善支援先14先を選定、営業店と本部が連携して経営改善に取り組みを行いました。ランクアップにまでは至りませんが、業況が改善した先は5先ありました。 また、「経営改善支援先」以外の経営改善計画策定先についても、本部「経営改善支援チーム」が年2回計画の進捗状況をフォローしています。
(3) 事業再生支援	中小企業支援機関や他の認定支援機関との連携により、取引先の再生を図ります。	富山県中小企業支援ネットワーク会議への参加により、他機関との連携を図っています。中小企業再生支援協議会を活用し、再生計画を策定した先は2件ありました。 当金庫が中心となって策定した事業改善計画は、10件ありました。
(4) 事業承継支援	商工会議所と連携し、後継者の相談に積極的に取り組んでいきます。 信金キャピタル㈱との連携による、M&Aの仲介業務の活用に取り組めます。	商工会議所と連携し、飲食業の独立開業と旅館の後継者不在による廃業をマッチングし、旅館施設名称を引き継いでの創業を支援しました。
(5) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み	事業者が利用しやすい、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資に取り組めます。	平成23年10月に、「事業性融資の個人連帯保証の取扱要領」を制定し、個人連帯保証契約については、経営者以外の第三者の個人連帯保証を求めないことを原則とする態勢としました。 平成26年2月に当金庫の「経営者保証に関するガイドラインへの対応方針」について公表し、以下の実績がありました。 ・「経営者保証に関するガイドライン」を活用し、新規に無保証で融資した件数3件 ・「経営者保証に関するガイドライン」に基づく保証債務整理の成立件数1件
(6) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み	外部研修への派遣、庫内研修、取引先企業への訪問研修の実施により職員の目利き能力向上を図ります。	北陸地区信用金庫協会主催の目利き力強化講座に営業店長1名、同じく目利き力養成講座に店長代理2名を派遣し、職員の能力向上を図りました。 取引先企業であるサービス付き高齢者向け住宅へ訪問し、介護業界の現状と問題点について学ぶことができました。

地域密着型金融

1. 平成26年4月～平成27年3月末の具体的な取組み状況

氷見伏木信用金庫

項 目	平成26年度の取組施策	平成26年度の成果
〔2〕地域の面的再生への積極的な参画		
地域への貢献		
(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生」への取組み	北陸3県の信用金庫がビジネスフェア共同開催し、取引先に対する仲介機能の強化を図ります。	当金庫からは、しんきんビジネスフェア2014に3社が出展し、事前マッチング、当日商談、事後フォローにより、取引先の事業展開の支援を行いました。商談は総計で65件あり、業務提携、仕入先開拓、販路拡大で6件が成約となりました。
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	<p>地域・生活に密着した活動を行っているNPO法人や学校法人等への支援融資に取り組めます。</p> <p>環境に配慮した融資商品を取扱いし、エコロジーに貢献します。</p> <p>利用者が減少傾向にある「JR氷見線」の活性化のため、沿線に拠点を構える金融機関として「JR氷見線応援定期」の発売により、地域鉄道の重要性を高めています。</p> <p>地元高等学校へ金融教育の出張授業を行ないます。</p> <p>地域のイベントへ積極的に参加します。</p>	<p>平成26年度は、6件・554百万円の取扱いがありました。</p> <p>環境にやさしいエコカーの購入や、省エネ設備設置等のエコリフォームについてローン金利を下げました。平成26年度は、マイカーローン8件・10百万円、リフォームプラン4件・49百万円の取扱いがありました。</p> <p>昨年度に引き続き「JR氷見線応援定期」を発売し、募集総額20億円の0.05%に当たる100万円を「JR氷見線応援委員会」に寄付しました。また、同定期預金の満期を迎えた預金者からの寄付金(税引き後受取利息の30%)についても同委員会へ寄付しました。</p> <p>「JR氷見線応援委員会」主催活動に積極的に参加しました。金庫職員が出張等に「JR氷見線」を利用することにより、乗車率の向上に努めました。</p> <p>氷見高校の金融教育プログラムの中に、講師を派遣し講話を行いました。</p> <p>里山再生整備事業である「伏木ふれあいの杜」に参加し、地元貢献に努力しています。</p> <p>地元の祭礼である「まるまげ祭り」に職員が参加しました。</p> <p>〃 の祭礼である「伏木けんか山」に職員が参加しました。</p>

地域密着型金融

1. 平成26年4月～平成27年3月末の具体的な取組み状況

氷見伏木信用金庫

項 目	平成26年度の実施策	平成26年度の成果
[3]地域や利用者に対する積極的な情報発信		
地域密着型金融の取組みの情報発信		
(1)当金庫の地域密着型金融の取組み状況の情報発信	ディスクロージャー誌やホームページでの情報発信を行なって、PRに努めています。	平成26年度地域密着型金融の取組み方針について、当金庫ホームページで公表また同内容の冊子を店頭に設置し、利用者にPRしました。

2. 地域密着型金融に係る主要係数等の実績(平成26年4月～27年3月)

主要係数等		実 績	
経営改善支援取組み率	$\frac{\text{経営改善支援取組み先数(正常先を除く)}}{\text{期初債務者数(正常先を除く)}}$	9.5%	
再生計画策定率	$\frac{\text{再生計画策定先数(正常先を除く)}}{\text{経営改善支援取組み先数(正常先を除く)}}$	100%	
ランクアップ率	$\frac{\text{ランクアップ先数(正常先を除く)}}{\text{経営改善支援取組み先数(正常先を除く)}}$	0.0%	
創業・新事業支援融資実績(件数・金額)		[件数] 8件	[金額] 574百万円

- (注) 1. 率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。
 2. 件数(先数)は、1件(1先)単位、金額は百万円単位で記載しています。
 3. 再生計画策定先は当金庫独自の再生計画の策定先を含んでいます。
 4. ランクアップとは当期末の債務者区分が期初より上位に遷移することをいいます。

3. 経営改善支援の取組み実績(平成26年4月～平成27年3月)

(単位:先数)

期初における支援 対象お取引先数	うち経営改善支援先数	Bのうち期末に債務者区 分がランクアップした先 数	Bのうち再生計画を策定 した先数
		A	B
147	14	0	14

(単位:%)

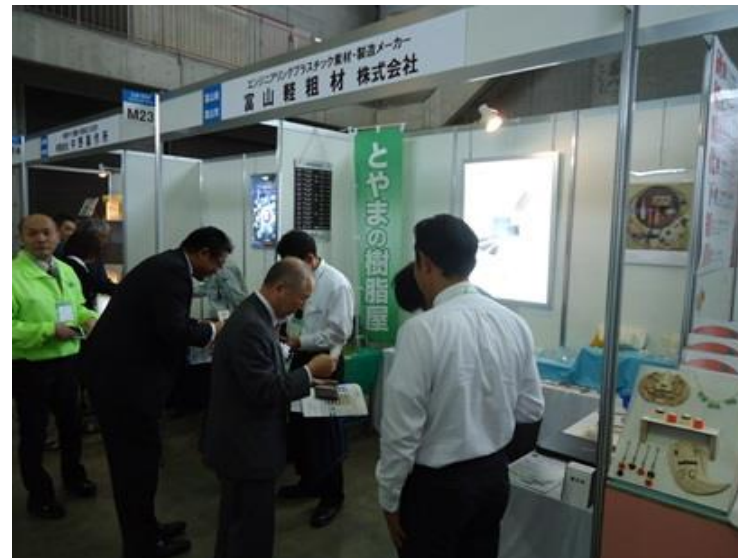
経営改善支援 取組み率	ランクアップ率	再生計画 策定率
B/A	C/B	D/B
9.5%	0.0%	100.0%

- (注) 1. 期初における対象お取引先数は、平成25年4月当初時点のものです。
 2. 期初における対象お取引先数及び経営改善先数は、取引先企業(個人事業主を含む。)で、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでいません。
 3. Cには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。
 4. 平成21年度に新たに取引を開始した取引先については、本表に含んでいません。
 5. 再生計画策定先は当金庫独自の再生計画の策定先を含んでいます。

4. 平成26年度 写真による氷見伏木信用金庫の地域密着型金融の取組み事例紹介

(1) 取引先の販路拡大に向けた取り組み

10月23日に「しんきんビジネスフェア2014」を石川産業展示館にて共同開催し、出展企業316社、来場者数2,600人を集めました。当金庫からは3社が出展、商談は65件あり、業務提携、仕入先開拓、販路拡大で6件が成約となりました。



(2) コンサルティング機能発揮のための 職員のレベルアップに向けた取り組み

目利き研修として、職員が市内のサービス付き高齢者向け住宅を訪問し、施設の見学や介護の現状について学んできました。

(平成26年5月26日)



(3) 地域の活性化に向けた取り組み

市民のマイレール意識の高揚やJR氷見線の利用者増加等を目的として発足された「JR氷見線応援委員会」の活動を支援するため、「JR氷見線応援定期預金」を販売しました。

(平成26年8月19日 「JR氷見線応援委員会」に寄付金を贈呈)



JR氷見線を気持ち良く利用してもらえよう、JR氷見駅や雨晴駅で列車や構内の清掃活動を行いました。

(平成27年2月27日)



(4) 地域への貢献活動

毎年地元高校に特別講師として参加、金融プログラムの講話を行っています。



毎年、地元の祭礼である「まるまげ祭り」に職員が参加しています。
(平成26年4月17日)



平成27年度 地域密着型金融の取組み方針について

■ 経営理念

- ・地域社会との「共存共栄」
- ・地域からの「信頼」・「信用」
- ・「地域金融機関」としての積極的かつ堅実な経営

当金庫は、昭和4年（1929年）の創業以来、法令等を遵守し、80有余年の歴史を歩んでまいりました。この歴史を通じて脈々と流れてきたのは、「地域の皆様とともに、地域社会の発展に貢献する」という理念です。この理念を基本に、協同組織金融機関として社会的役割を全うすべく業務に邁進した結果、お客様との「信頼」・「信用」というかけがえのない財産を築くことができたものと確信しております。

当金庫が長期的に発展していくためには、地域社会と「共存共栄」することが不可欠であり、地域の皆様からの「信頼」・「信用」を大切にしつつ、どんな時代や環境にあっても時世にあった人財の育成を図り、「地域の金融機関」として、従来以上に積極的かつ堅実な経営を目指してまいります。

■ 地域密着型金融の推進に関する方針

当金庫は、「近くて便利」・「きめ細かで親切」をモットーに地域のお客様に金融サービスを円滑にご提供し、地域社会との共生を基本理念として地域社会、地域経済の発展に貢献してまいります。

健全経営の維持を基本姿勢として、地域社会の再生・活性化を実現するため、中小企業の支援・育成、地域住民の生活向上、福祉環境等への取組みの促進を積極的に推進することにより、「地域になくてはならない金融機関」を目指してまいります。

平成27年度は、平成26年12月27日に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されたことを受け、本部・営業店が一体となった体制により、地域金融機関として地方創生の一翼を担うべく、以下の項目に重点を置き、より一層地域経済の発展に貢献していく所存であります。

〔1〕顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

ライフステージに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業開拓を目指す企業への支援

○ビジネスマッチングによる支援

- ・しんきんビジネスフェアの共同開催により、出展企業と来場者のビジネスマッチングを展開します。

○中小企業支援機関との連携による支援

- ・高岡市、氷見市、両商工会議所等と連携して、創業・新事業支援を行ないます。
- ・経営革新等支援機関として創業補助金等各種補助金、助成金の申請にかかる支援を行います。

(2) 成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援

○ビジネスフェア開催による支援

- ・信金ネットワークを活用し、しんきんビジネスフェアの共同開催でビジネスマッチングの機会を作り、販路拡大につながるよう支援します。

○行政や中小企業支援機関との連携による支援

- ・国、地方公共団体の中小企業施策の積極活用を図ります。
- ・経営革新等支援機関として、ものづくり補助金やとやま中小企業チャレンジファンド等の中小企業支援策の積極活用を図ります。

○資金面での支援

- ・「経営者保証に関するガイドライン」を遵守し、不動産担保や個人保証に依存しない融資の取組みにより資金面で支援します。
- ・中小企業向けの事業性ローンの取組みを継続していきます。

(3) 経営改善が必要な企業への支援

○経営改善支援への積極的取組み

- ・ 営業店と本部「経営改善支援チーム」が連携を図り、取引先の経営改善の提案を行ないます。
- ・ 経営革新等支援機関として、他の認定支援機関と連携し取引先の経営改善の提案を行ないます。
- ・ 経営革新等支援機関として富山県経営改善支援センターの活用により、取引先の経営改善計画策定支援に取り組みます。

(4) 事業再生や業種転換が必要な企業への支援

○富山県中小企業支援ネットワーク会議を活用した他機関との連携による取組み

- ・ 富山県中小企業再生支援協議会との連携による中小企業の事業再生や経営改善支援に取り組みます。
- ・ 税理士、中小企業診断士等外部専門家との連携を図り有効なアドバイス等を行なっていきます。

○とやま中小企業再生支援ファンドの活用

- ・ 25年3月に組成された官民一体型のファンド活用により、事業再生に取り組みます。

(5) 事業承継が必要な企業への支援

○中小企業の事業承継問題の解決手法

- ・ 信金キャピタル(株)、(株)日本 M&A センターとの連携により、取引先企業の事業承継のマッチングを支援します。

〔2〕 地域の面的再生への積極的な参画

地域への貢献

○金融を通じた地域貢献

- ・ 地域に密着したNPO法人や介護福祉施設への融資に取り組んでいきます。
- ・ JR氷見線沿線に拠点を構える金融機関として、利用者が減少傾向にあるJR氷見線の活性化のため「JR氷見線応援定期」の販売により、地域鉄道の重要性を高めていきます。
- ・ 金融を身近に感じてもらうため、高等学校における金融教育プログラムの中に講師を派遣します。

○地方創生に向けた取り組み

- ・地方公共団体による「地方総合戦略」の策定および円滑な施策の実施に参加するため『地方創生支援委員会』を設置し、当金庫の保有する知識、経験に基づき積極的に情報の提供・提案を行うなど、本部・営業店一体となった体制により、地域金融機関として地方創生の一翼を担い地域経済の発展に貢献してまいります。

〔3〕 地域や利用者に対する積極的な情報発信

地域密着型金融の取り組みの情報発信

○ディスクロージャー誌やホームページでの情報発信

- ・経営改善の取組状況や事例を積極的に情報発信していきます。